

科目名		衛生学演習	
科目責任者 辻 真 弓 (衛生学 教授)			
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>環境要因とヒトとの相互作用による健康影響を評価するために、生体試料を用いて行われる手法を学び、さらにその意義と問題点を理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境要因による健康への影響を理解し、健康リスクアセスメントができる。 2) 産業現場における環境測定、健康障害の把握と被害防止について論じることができる。 3) 金属中毒(鉛中毒、金属発がん、金属アレルギー等)の機構について論じることができる。 4) 化学物質の毒性作用と発現機構について論じることができる。 5) ダイオキシン等地球環境汚染による健康影響の評価方法について論じることができる。 6) 樹脂(プラスチック)等の新規化学物質の健康影響について最新の報告を収集することができる。 7) 研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、メタアナリシス)について論じることができる。 8) 研究に適した試料の選択について論じることができる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容60%、討議への参加度40%で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		